

昭和二年度直轄工事年報

内務省土木局

誤		正	
口	四頁	繪	(6) ト (7) ノ寫眞入レ替ヘ
	一七頁		「ノ九河川」ハ「狩野、大淀ノ十一河川」
	十一行括弧内		「一千立方米」ハ「九百七十立方米」
	一三〇頁		「突堤」ハ「突堤」
	一四三頁		「四百二十八町」ハ「四百二十町」
	二五八頁		「矢津屹」ハ「矢津越」
	二七三頁		「各期間」ハ「冬期間」
	二七八頁		「隧道」ハ「隧道」(四箇所アリ)
	二九六頁		「割歩」ハ「割分」
	二九九頁		「低水面上」ハ「干潮面上」
口	三一二頁	繪	「命ジ」ハ「合シ」
	四〇〇頁		「一三個所」ハ「十三箇所」
	四〇八頁		「附帶地低水工事」ハ「附帶低水工事」
	三八一頁		「附帶低水工事」
	十五行		「附帶低水工事」
	十八行		「附帶低水工事」
	表中		「附帶低水工事」
	三行		「附帶低水工事」
	十五行		「附帶低水工事」
	一行及四行		「附帶低水工事」

昭和二年度直轄工事年報目次

總論

第一	治水事業	一頁
----	------	----

第二	港灣改良事業	五
----	--------	---

第三	復舊及應急事業	七
----	---------	---

第四	本年度施行工事	八
----	---------	---

第一章 河川改修工事

第一	利根川改修工事	一五
----	---------	----

第二	信濃川改修工事	三七
----	---------	----

第三	吉野川改修工事	四四
----	---------	----

第四	高梁川改修工事	五四
----	---------	----

第五	北上川改修工事	六〇
----	---------	----

第 六	荒川改修工事	六七
第 七	阿賀野川改修工事	八一
第 八	最上川改修工事	八七
第 九	雄物川改修工事	九五
第一〇	江合、鳴瀬兩川改修工事	一〇〇
第一一	淀川改修増補工事	一〇五
第一二	千曲川改修工事	一一五
第一三	加古川改修工事	一二〇
第一四	岩木川改修工事	一二七
第一五	神通川改修工事	一三三
第一六	多摩川改修工事	一四二
第一七	阿賀川及阿武隈川改修工事	一四七
第一八	太田川改修工事	一五三

第一九	富士川改修工事	一五八
第二〇	圓山川改修工事	一六六
第二一	木曾川上流改修工事	一七二
第二二	斐伊川改修工事	一八一
第二三	信濃川上流改修工事	一八七
第二四	筑後川改修工事	一九二
第二五	天龍川改修工事	一九六
第二六	千代川改修工事	二〇〇
第二七	蘆田川改修工事	二〇五
第二八	紀ノ川改修工事	二〇九
第二九	綠川改修工事	二一四
第三〇	鬼怒川改修工事	二一八
第三一	北川改修工事	二二六

第三二	旭川改修工事	二三一
第三三	狩野川改修工事	二三五
第三四	大淀川改修工事	二三九
第二章	河川附屬物及水路維持工事	
第一	木曾川附屬物及水路維持工事	二四三
第二	淀川附屬物維持工事	二四六
第三	利根、渡良瀬兩川維持工事	二四九
第四	信濃川維持工事	二五六
第三章	砂防工事	
第一	淀川流域砂防工事	二五九
第二	富士川流域砂防工事	二六二
第三	桂川流域砂防工事	二六六
第四	大谷川流域砂防工事	二六八

第四章 港灣改良工事

第五	千曲川流域砂防工事	二七一
第六	神通川流域砂防工事	二七三
第七	常願寺川流域砂防工事	二七五
第八	木津川流域砂防工事	二七八
第九	揖斐川流域砂防工事	二八〇
第一〇	手取川流域砂防工事	二八三
第一	關門海峽改良工事	二八七
第二	鹽釜港修築工事	二九三
第三	神戸港修築工事	二九八
第四	橫濱港修築工事	三一五
第五	門司港修築工事	三二六
第六	長崎港修築工事	三三一

第 七	清水港修築工事	三三五
第 八	下關港修築工事	三四二
第 九	敦賀港修築工事	三四七
第一〇	高松港修築工事	三五三
第一一	境港修築工事	三六一
第一二	今治港修築工事	三六五
第一三	鹿兒島港修築工事	三七四
第一四	小松島港修築工事	三七八
第一五	伏木港修築工事	三八五
第五章	復舊工事、應急工事及補修工事	
第 一	相模川外四箇川流域震災復舊砂防工事	三九一
第 二	信濃川大河津自在堰應急工事	四〇二
第 三	信濃川補修工事	四〇七

口繪寫眞(二十七面)

目

- | | | | | | | | | | | | | | | | |
|------------------------|-----------------|-------------------|-----------------|-------------|-------------|--------------|-------------|-------------|--------------------|---------------|---------------|----------------------|-----------------------|----------------------------|---------------------------|
| (16) | (15) | (14) | (13) | (12) | (11) | (10) | (9) | (8) | (7) | (6) | (5) | (4) | (3) | (2) | (1) |
| 相模川流域震災復舊砂防工事道志川筋大瀬戸堰堤 | 神通川流域砂防工事六郎谷石堰堤 | 千曲川流域砂防工事木澤第十八號堰堤 | 千代川改修工事機械掘鑿土捨作業 | 筑後川改修工事機械掘鑿 | 斐伊川改修工事機械浚渫 | 圓山川改修工事玄武洞樋門 | 富士川改修工事藤田水制 | 千曲川改修工事石張護岸 | 淀川改修増補工事三栖閘門前扉室及閘室 | 淀川改修増補工事神崎川樋門 | 最上川改修工事赤川新川開鑿 | 荒川下流改修工事船堀閘門基礎杭打夜間操業 | 荒川下流改修工事船堀閘門前扉室扉捲揚塔組立 | 荒川下流改修工事小松川閘門扉室基礎床版混凝土夜間操業 | 淀川改修増補工事木津、宇治、桂三川合流附換工事全景 |

次

附

圖(別冊六十七葉)

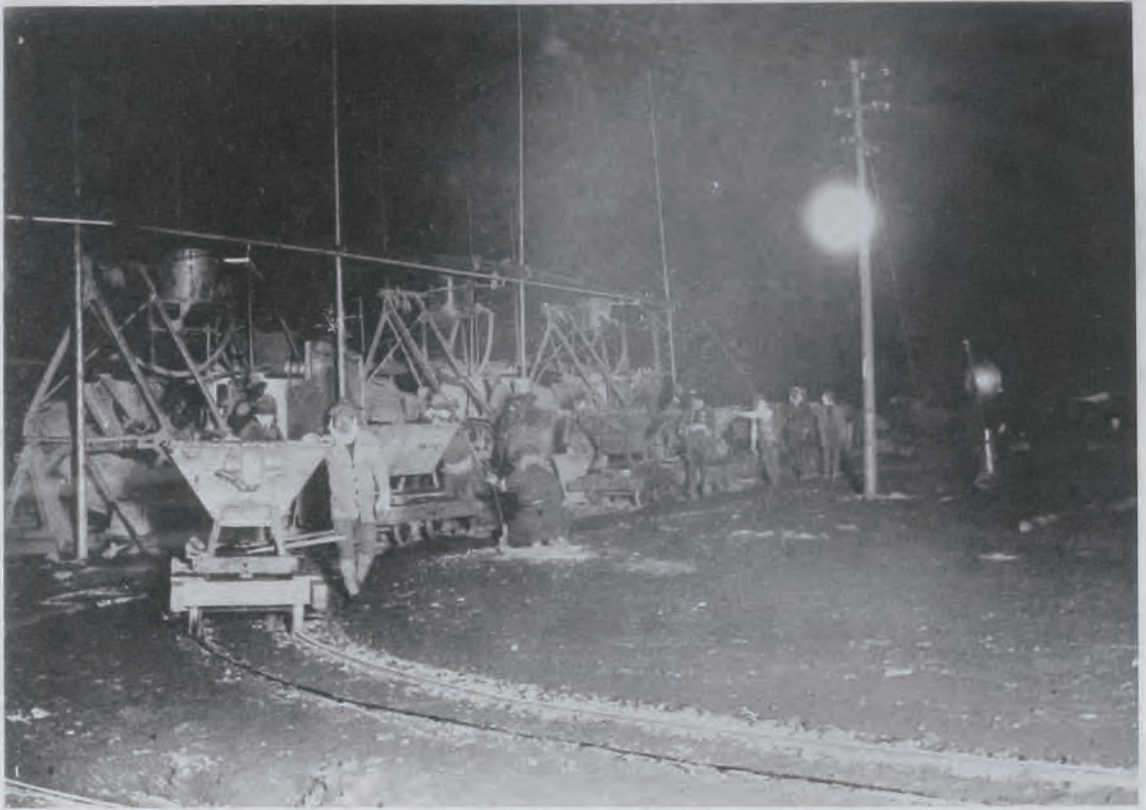
(17)	早川流域震災復舊砂防工事出山堰堤
(18)	鹽釜港修築工事四米六岸壁鐵矢板打込
(19)	神戸港修築工事岸壁用鐵筋混凝土函
(20)	神戸港修築工事南防波堤築造
(21)	橫濱港修築工事千若町及埋立地間連絡橋梁
(22)	橫濱港修築工事三米岸壁用扶壁體搬出
(23)	清水港修築工事二米七物揚場
(24)	境港修築工事混凝土方塊製造場
(25)	境港修築工事防波堤捨石均及方塊据付
(26)	境港修築工事五米五岸壁用地据付
(27)	鹿兒島港修築工事機械浚渫

直轄河川港灣一覽圖 利根川(六葉) 信濃川 吉野川 高梁川
 北上川 荒川(二葉) 阿賀野川 最上川 雄物川 江合、鳴瀬兩
 川 淀川改修増補 千曲川 加古川 岩木川 神通川 多摩
 川 阿賀川及阿武隈川(三葉) 太田川 富士川(二葉) 圓山川
 木曾川上流 斐伊川 信濃川上流 筑後川 天龍川 千代川

蘆田川	紀ノ川	綠川	鬼怒川(三葉)	北川	旭川	狩野川
大淀川						
關門海峽	鹽釜港	神戸港	橫濱港	門司港	長崎港	清水
港	下關港	敦賀港	高松港	境港	今治港	鹿兒島港
松島港	伏木港					小
(以下竣功圖)	庄川	遠賀川	九頭龍川(二葉)	渡良瀬川	新潟	
港						

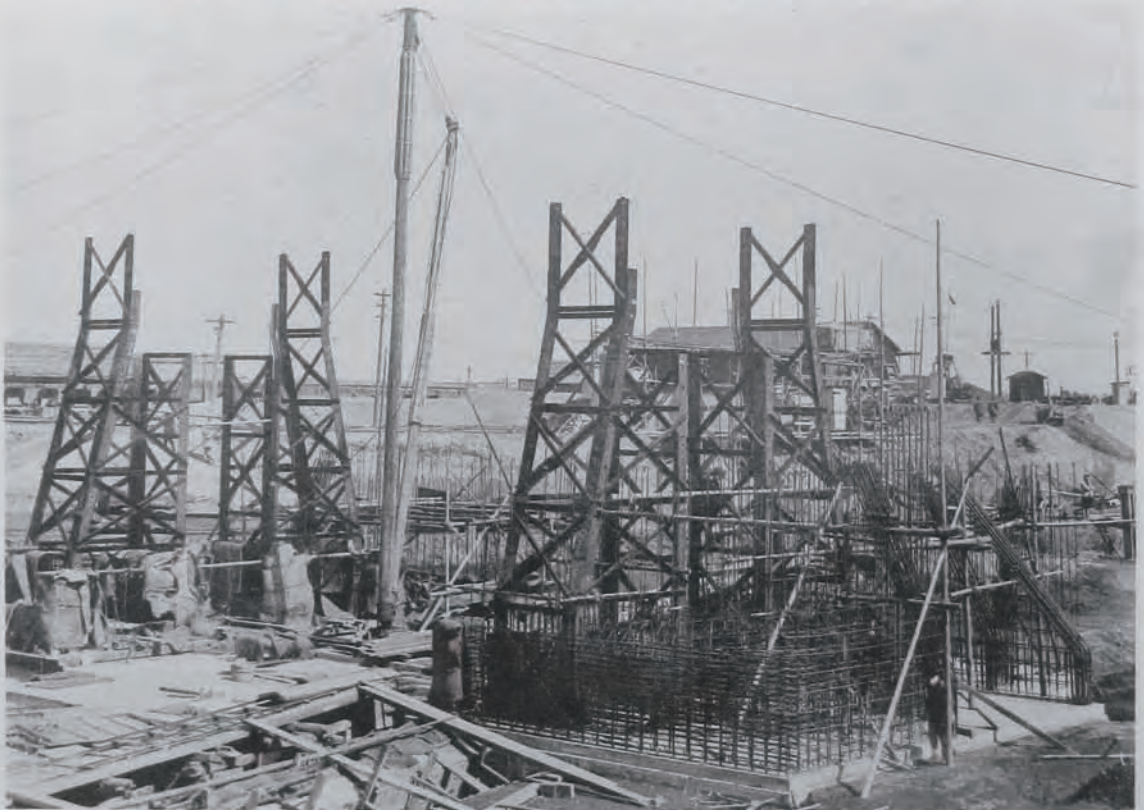


(1) 淀川改修増補工事木津、宇治、桂三川合流、附換工事全景
 大山崎天王山ヨリ對岸橋本町八幡山及其上流ヲ望ム



(2) 荒川下流改修工事小松川閘門扉室基礎床版混凝土夜間操業
(東京府南葛飾郡小松川町地先)

扉室幅十一米・閘室幅十四米四・閘室有效長九十一米・基礎床版中ニハ高二米二ノ
鐵桁ヲ縱横ニ配列ス其重量前後兩扉室ヲ合セ百九十五噸又混凝土容積一千百十立方
米ニシテ各扉室混凝土ヲ三百立棟混凝土混合機ハ臺ヲ使用シー晝夜ニテ施工シタリ



(3) 荒川下流改修工事船堀閘門前扉室扉捲揚塔組立
(東京府南葛飾郡松江町地先)

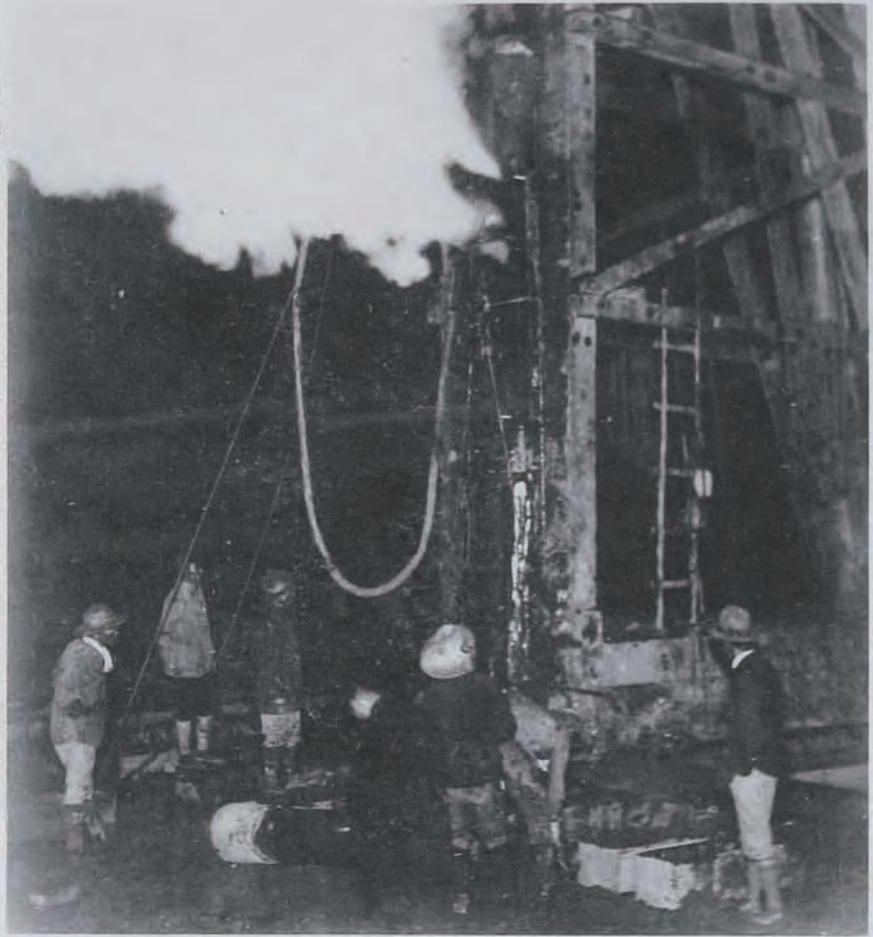
扉室幅十一米・閘室幅十四米四・閘室有效長九十一米・塔高閘
以上二十三米・捲揚塔鐵骨前扉室五十噸・後扉室四十噸

(4)

荒川下流改修工事船堀開門基礎杭打夜間操業

(東京府南葛飾郡松江町地先)

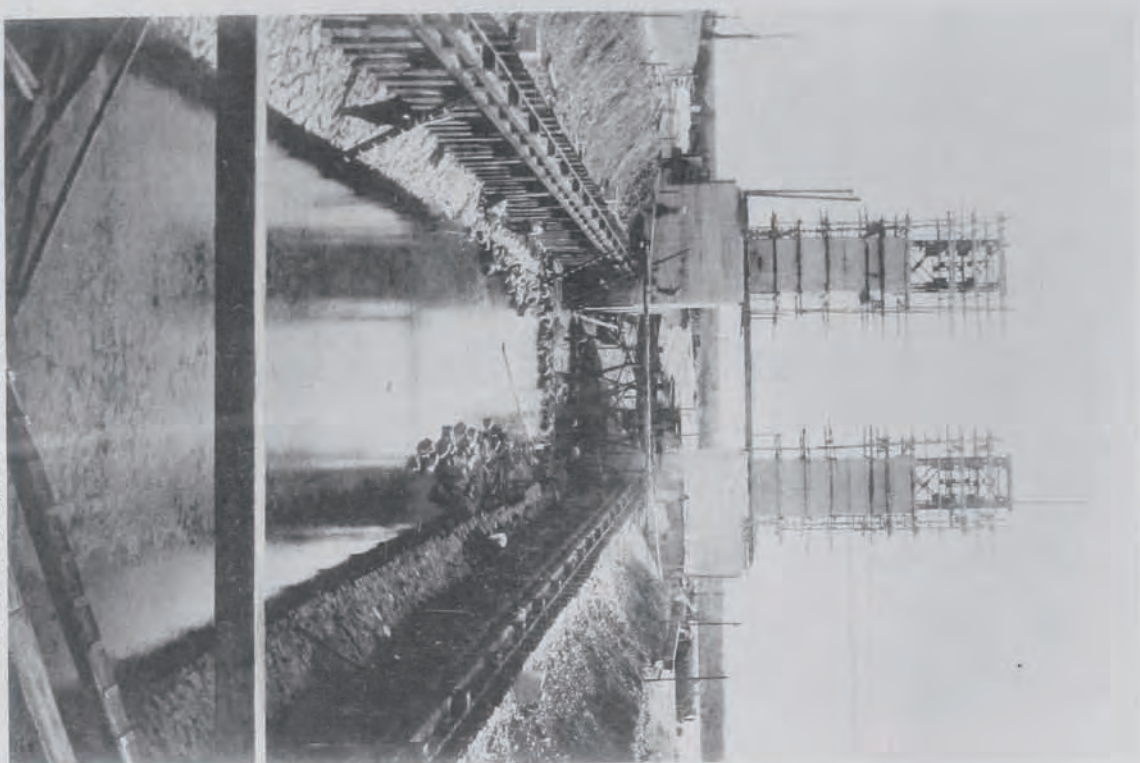
基礎杭末口二十三艘・長二十二米七・米松丸太四百五十二本・
杭間隔縦横共一米二・重量二千九百斤・マツキヤナン・テリ
1 蒸氣杭打機使用



(5) 最上川改修工事赤川新川開鑿

(山形縣西田川郡補浦村地先)

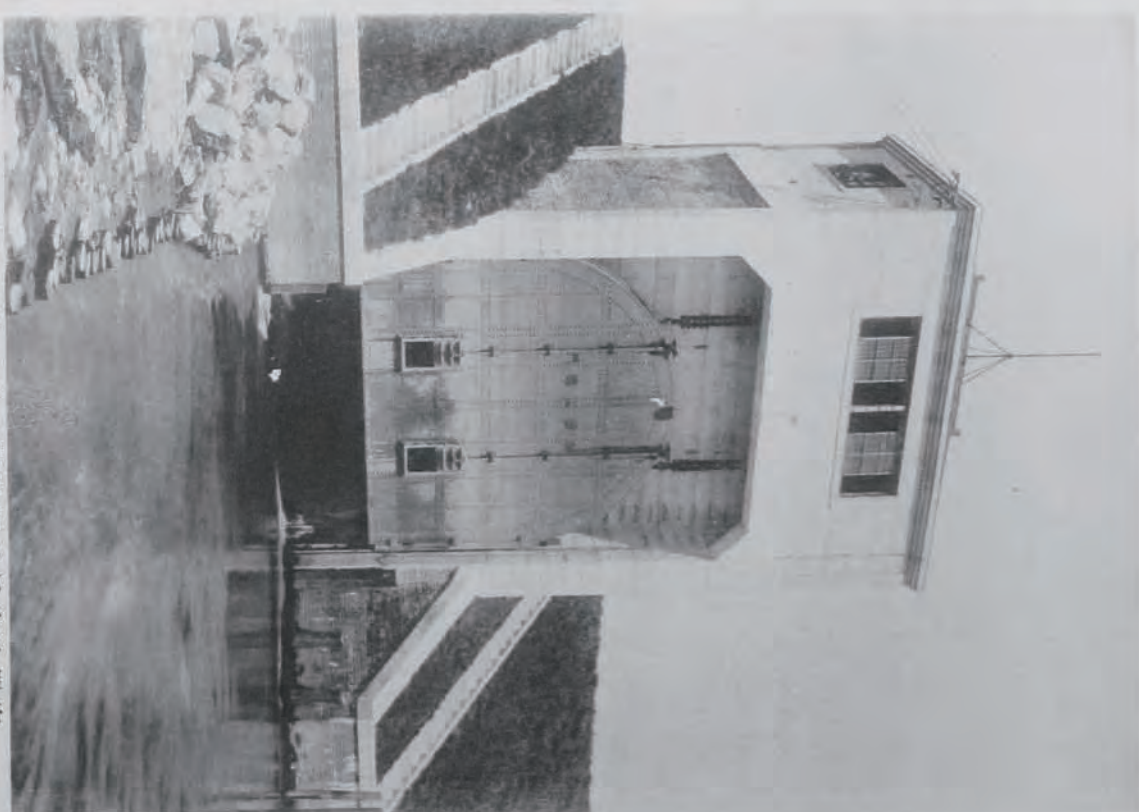
新水路延長二千八百米・底幅百米・最大掘鑿深四十五米・掘鑿土量八百五萬立方米・
寫眞ハ昭和二年七月初メテ通水セシ時下流ヨリ上流ヲ望ミシ狀況ニシテ當時迄ニ
六百五十萬立方米ヲ掘鑿シタリ



(6) 淀川改修増補工事神崎川樋門

(大阪府三島郡味生村地先)

高五米三・徑間五米五・扉重量十八噸電動捲揚・
用水取入並ニ低水時通船ノ目的ヲ以テ築造セラル



(7) 淀川改修増補工事三栖閘門前扉室及閘室

(京都府紀伊郡伏見町地先)

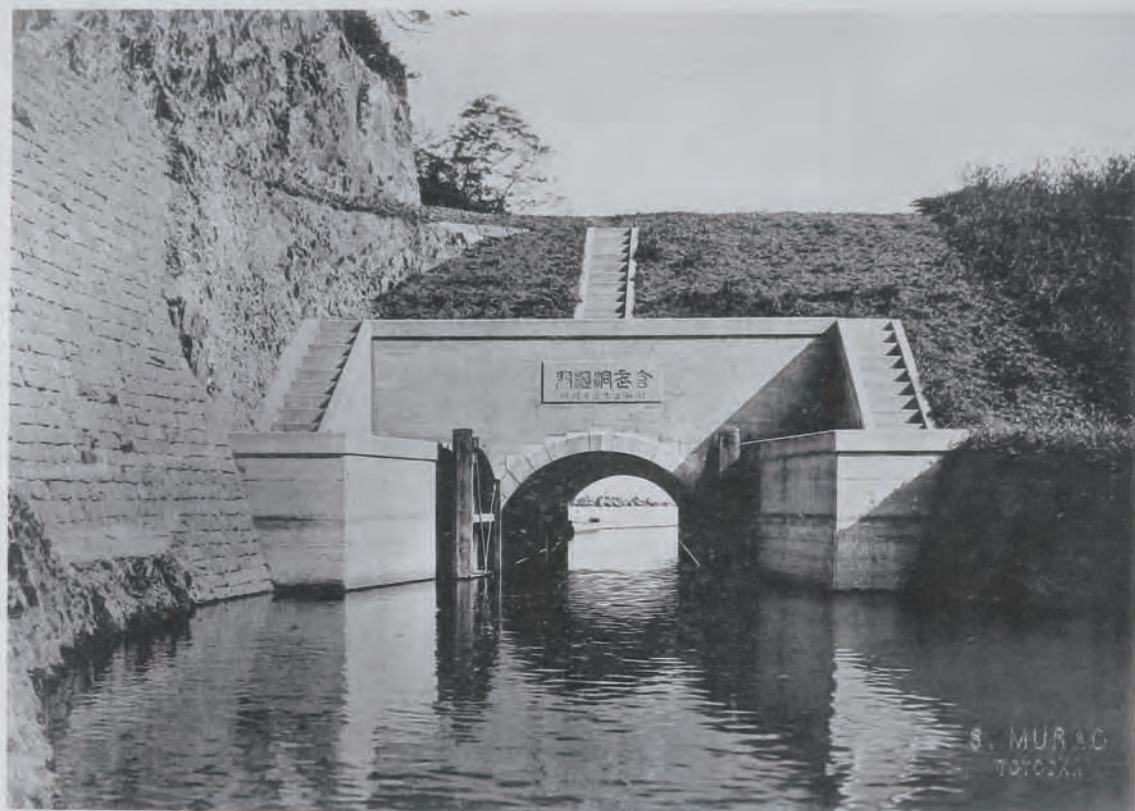
閘室有数長八十米・扉室幅八米・閘室幅十一米・扉室
基礎混凝土井筒・閘室ラルセン鐵夾板壁・扉捲揚塔
鐵骨鐵筋混凝土・扉スローニ式鐵製電力操作



(8) 千曲川改修工事石張護岸
 (長野縣更級郡鹽崎村地先)
 築堤ノ一部ハ河身内ニ築設スルタメ
 木工沈床・杭柵水制及石張ヲ施行ス



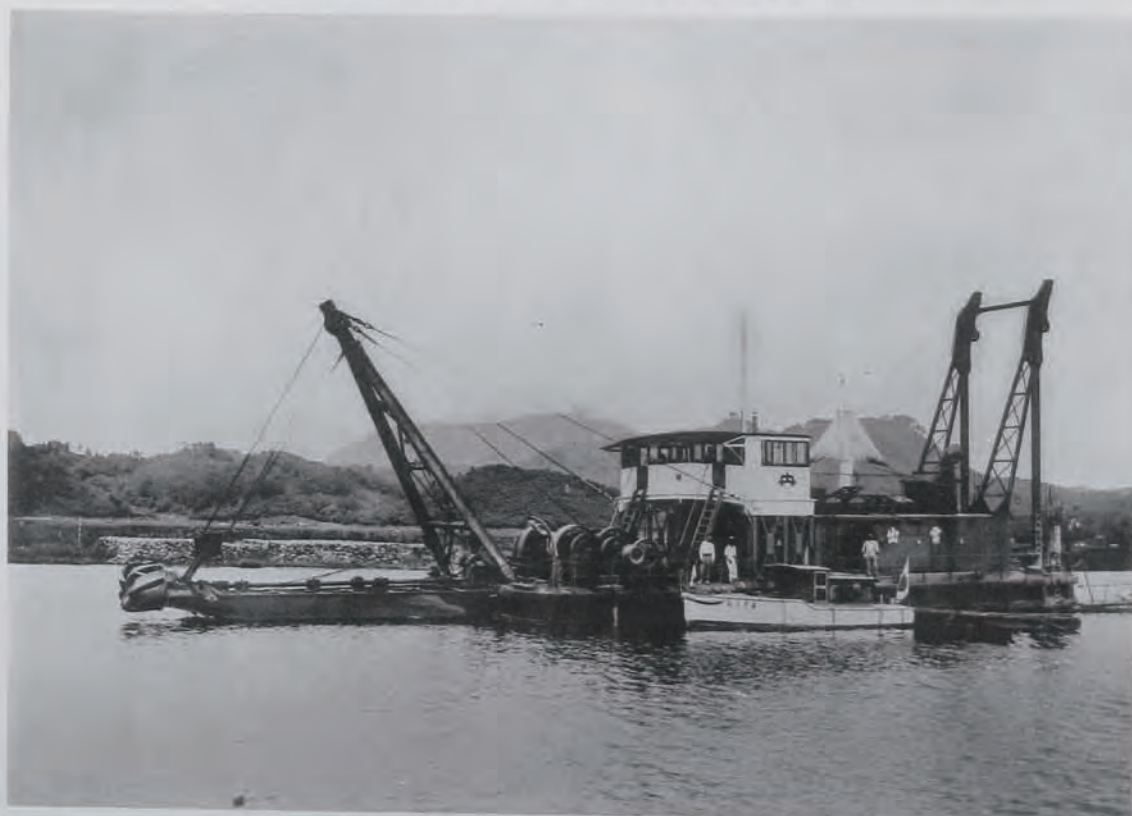
(9) 富士川改修工事藤田水制
 (山梨縣中巨摩郡藤田村地先)
 鐵筋混凝土材合掌杵二列布設・水制長三十二米



(10) 關山川改修工事玄武洞樋門

(兵庫縣城崎郡田鶴野村地先)

徑間三米・高三米一・本體長十八米六・翼壁長八米・本體・
翼壁及水叩鐵筋混凝土・扉鐵製自在式・基礎岩盤均混凝土



(11) 斐伊川改修工事機械浚渫

(島根縣八束郡川津村地先)

吸揚浚渫船田雲號一時間能力百二十立方米・浚渫深四米五



(12) 筑後川改修工事機械掘鑿
 (福岡縣三潁郡安武村地先)
 掘鑿機能力一時間百二十立方米・二十瓩機關車
 ヲ使用シ三立方米積土運車三十臺餘ヲ牽引ス



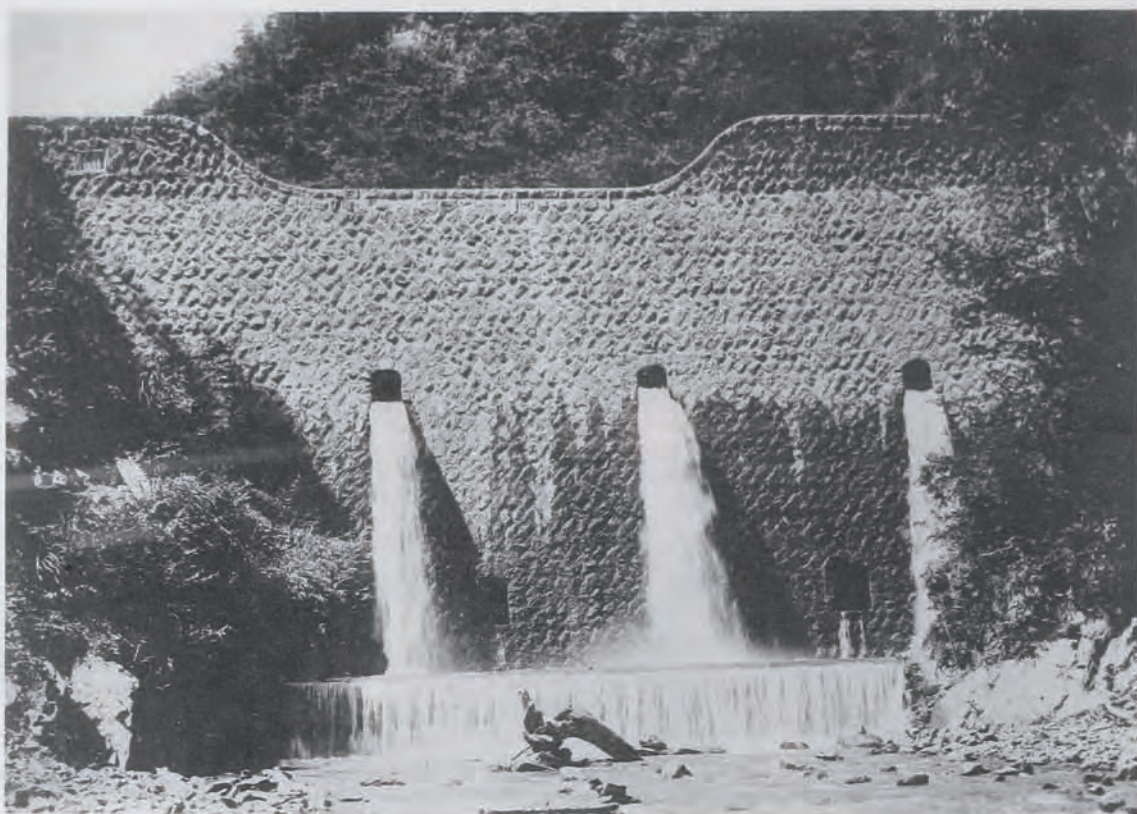
(13) 千代川改修工事機械掘鑿土捨作業
 (鳥取縣氣高郡千代水村地先)
 土運車ハ米國製兩側開ダンプカーニシテ容量三立方米ハ



(14) 千曲川流域砂防工事木澤第十八號堰堤
 (長野縣北安曇郡陸鄉村地先)
 堰堤上長二十七米・下長十三米七・高九米二・水通上長六米五・下長三米五・高二米五



(15) 神通川流域砂防工事六郎谷石堰堤
 (岐阜縣吉城郡船津町地先)
 數多ノ石堰堤及谷止石積ヲ施工ス



(16) 相模川流域震災復舊砂防工事道志川筋大瀬戸堰堤

(神奈川県津久井郡青根村地先)

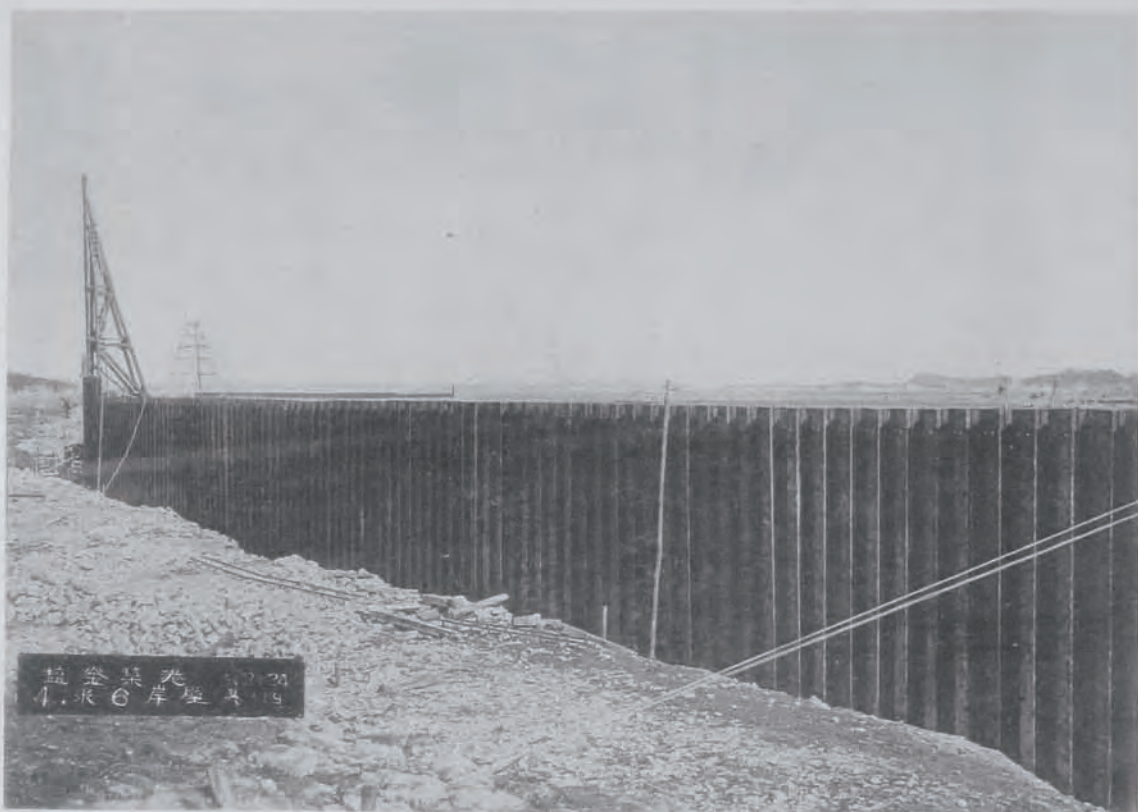
本堰堤高十六米・長三十二米・水通長十二米・築立立積二千五百二十五立方米・副堰堤高四米・長十三米・築立立積百五十六立方米



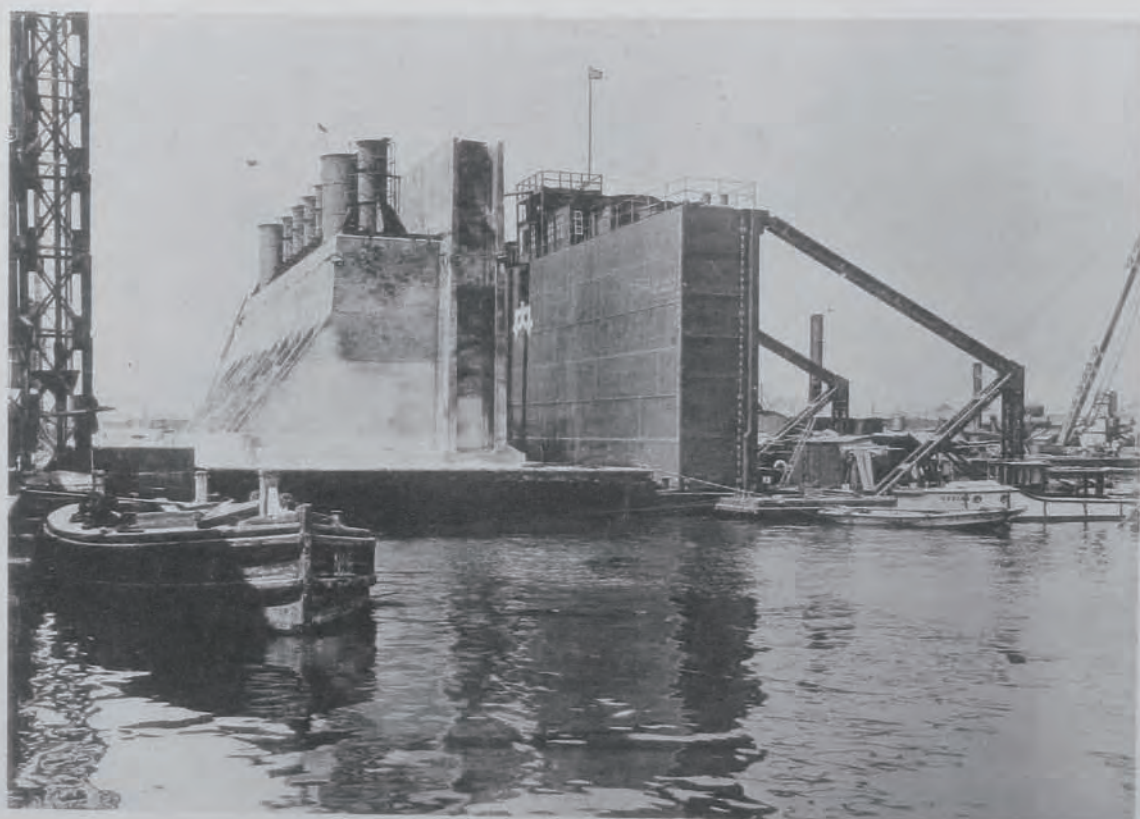
(17) 早川流域震災復舊砂防工事田山堰堤

(神奈川県足柄下郡温泉村地先)

本堰堤高二十米・長五十一米・水通長十六米・築立立積五千六百二十九立方米・副堰堤高五米・長二十二米・築立立積三百三十八立方米



(18) 鹽釜港修築工事四米六岸壁鐵矢板打込
ラルセン鐵矢板第二號型長十二米使用

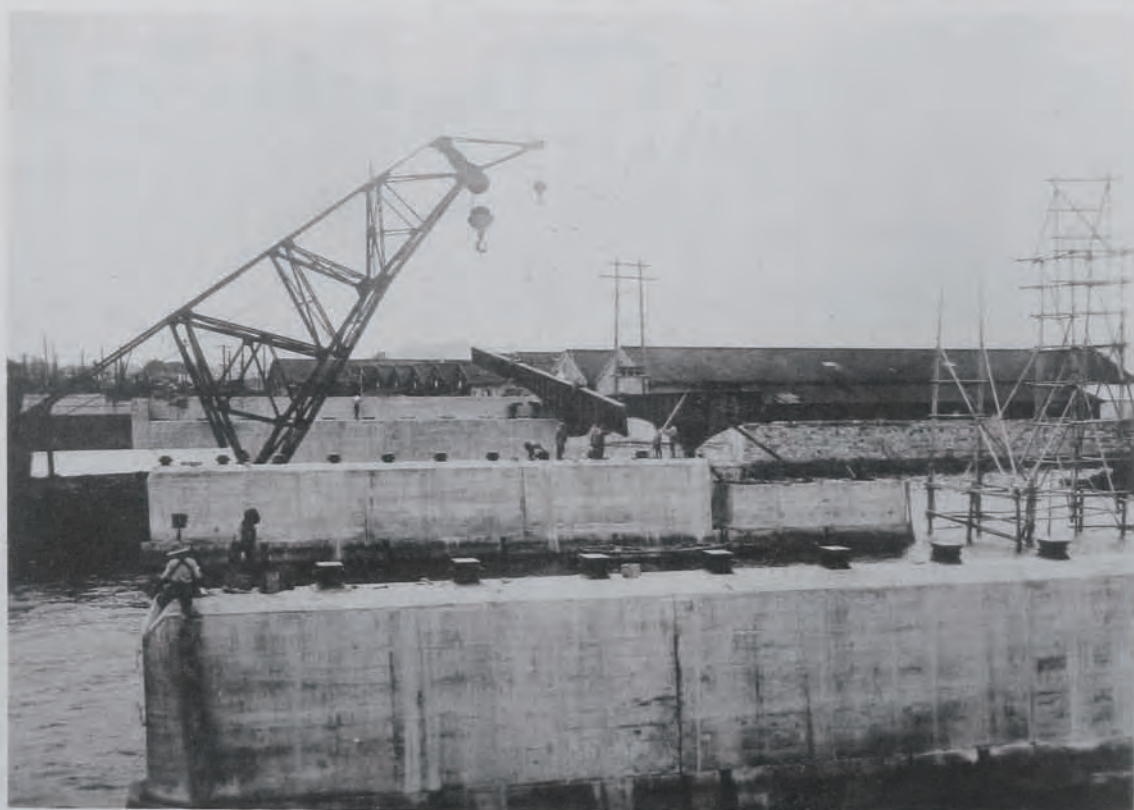


(19) 神戸港修築工事岸壁用鐵筋混凝土函
函ハ十米岸壁用ノモノニシテ長三十五米・幅十米二・高十一米八・重量一千七百噸ニシテ能力二千噸浮船渠ニ依リ函臺ヨリ引出シタル狀況ナリ



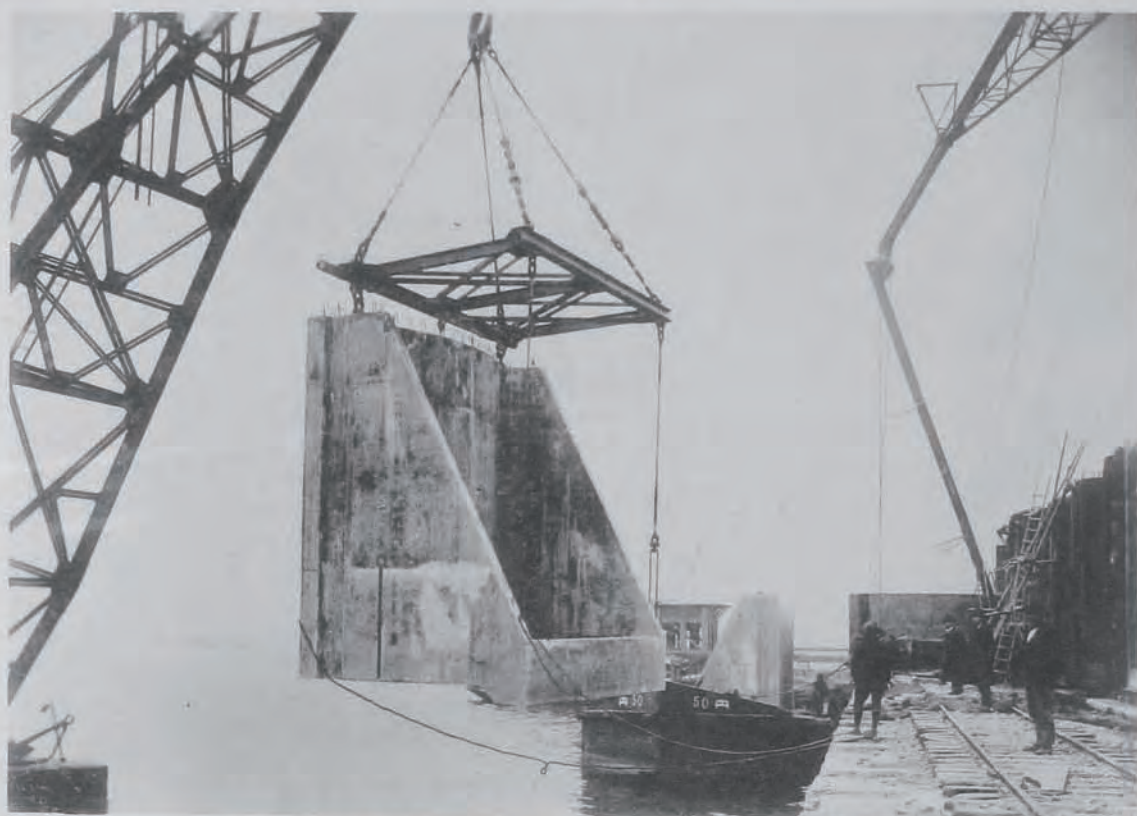
(20) 神戸港修築工事南防波堤築造

防波堤ハ粗石ヲ捨テ其上ニ鐵筋混凝土函ヲ据付ク函ノ長十四米・
上幅三米六・下幅七米・高六米六ニシテ隔壁ニ依リ四區劃ニ分タル



(21) 横浜港修築工事千若町及埋立地間連絡橋梁

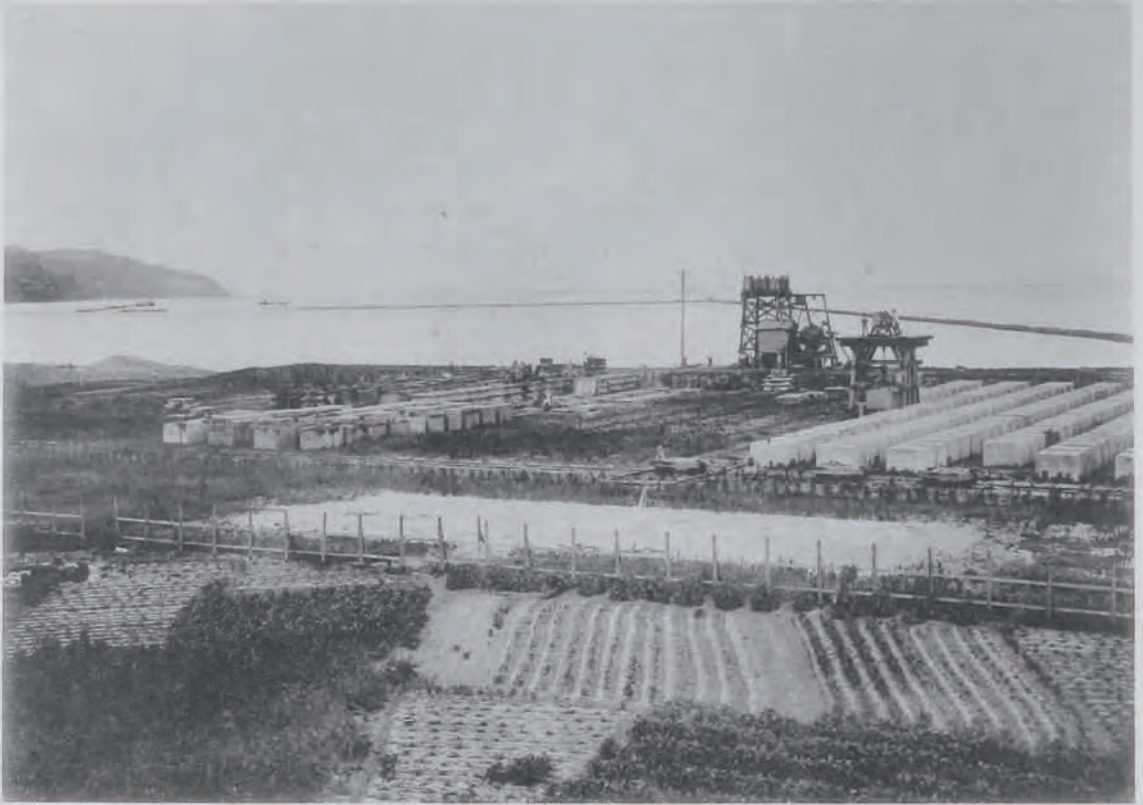
徑間三十六米一連・二十米二連・幅員人道橋二十四米・
鐵道橋八米・桁下端高朔望平均満潮面上五米



(22) 横濱港修築工事三米岸壁用扶壁體搬出
扶壁體高五米・長四米九・底幅三米五



(23) 清水港修築工事二米七物揚場
長十六米・高四米・底幅三米ノ鐵筋混凝土函ヲ沈設シ此上ニ五割
勾配ノ斜面混凝土ヲ施ス繫船柱ハ十五米毎ニ斜面ノ中央ニ埋設ス



(24) 境港修築工事混凝土方塊製造場
遠ク見ユルハ捨石其他ヲ施工シタル防波堤ナリ



(25) 境港修築工事防波堤捨石均及方塊据付
干潮位附近迄海側三割港側一割五分勾配ニ捨石ヲ施シ混凝土
方塊ヲ据付ク天端高干潮位以上一米五・天端幅三米六ナリ



(26) 境港修築工事五米五岸壁用塊据付
塊高七米三・長一米五・底幅四米三・塊天端干潮位上一米五



(27) 鹿兒島港修築工事機械浚漂
杓揚浚漂船能力一時間百立方米・長三十米・幅十一米五・
船首深二米六・船尾深二米三・前方ニ見ニルハ櫻島ナリ